

ケッティーのFX講座

第10回

積み増しとナンピンの考え方

By ケッティー

注意事項

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、この書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲:

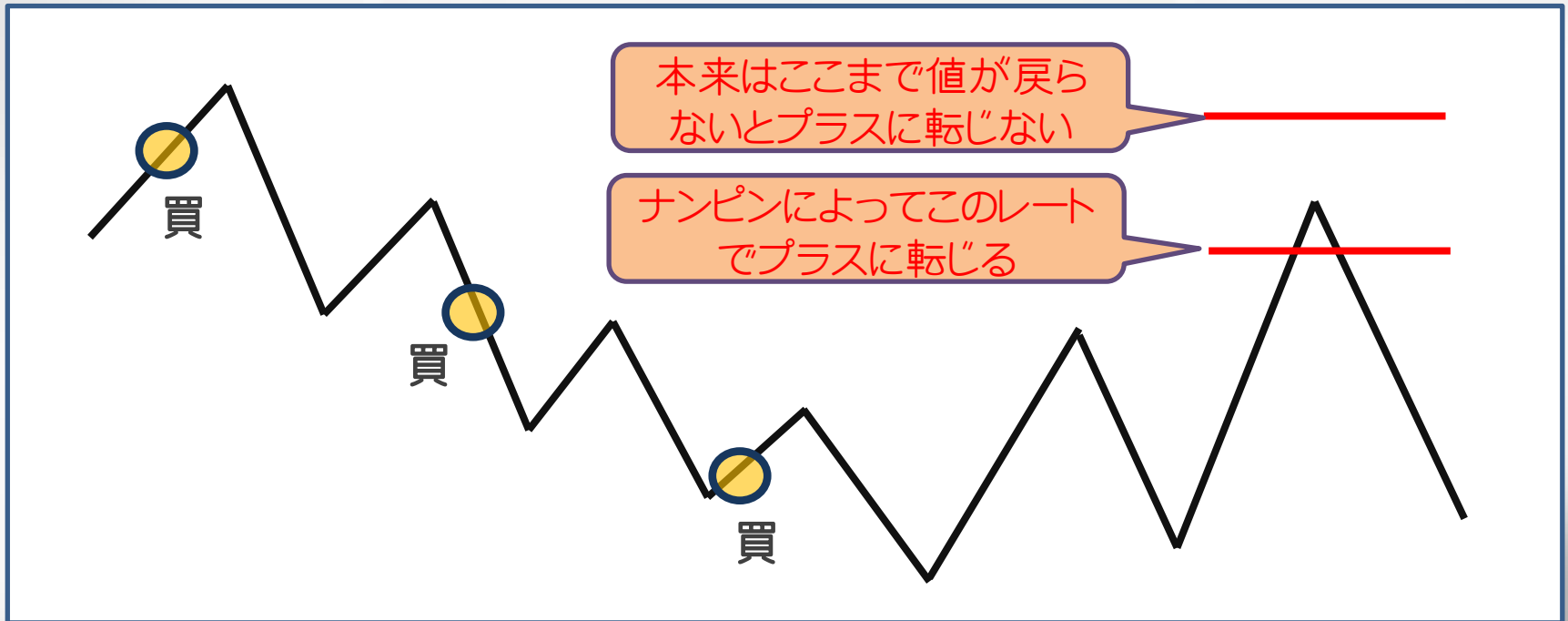
本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

ナンピンとは？

ナンピンとは？

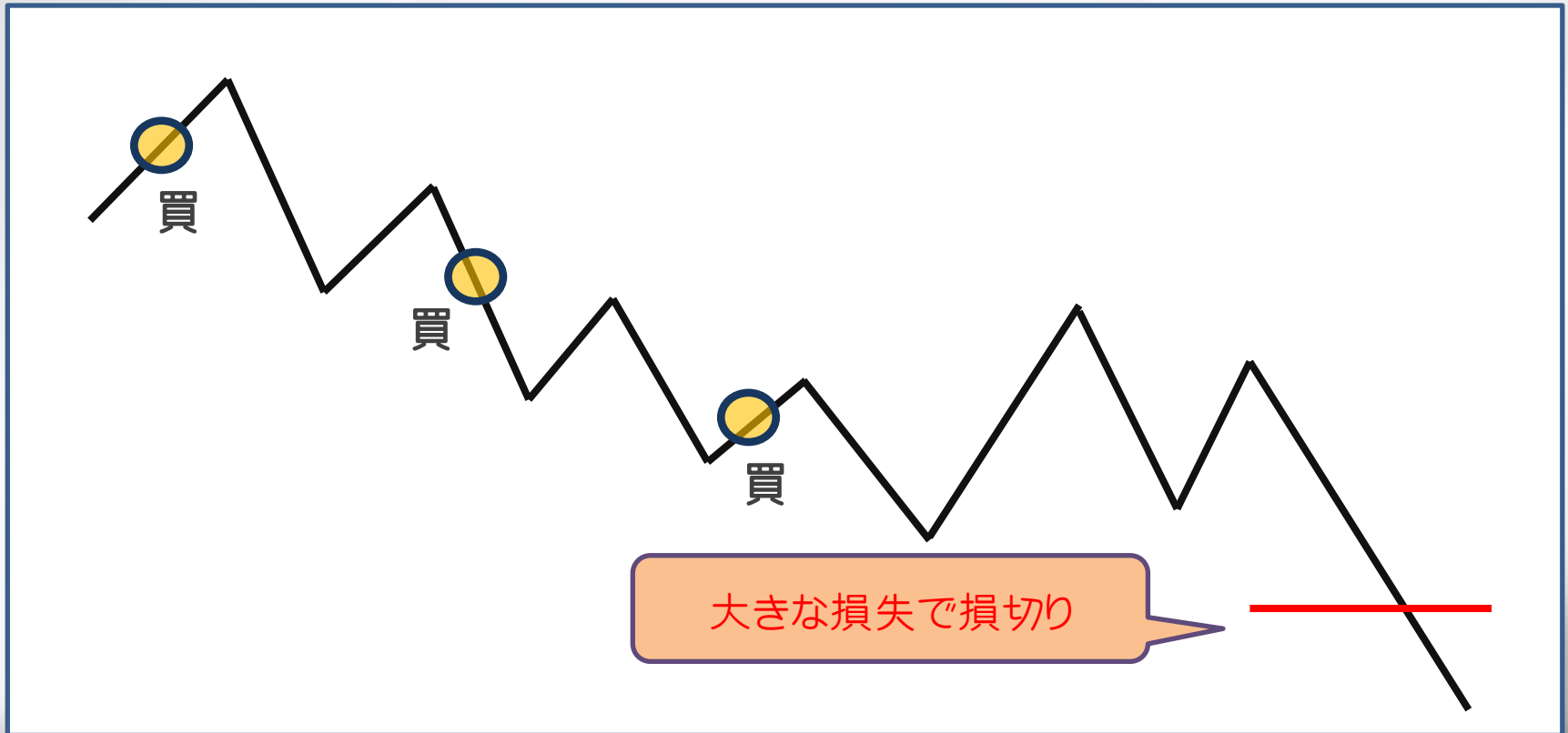
エントリーしたポジションがマイナスになった所で再度エントリーする手法です。例えば、買ったポジションが含み損になり、損切りをしないまま保有し、更に下がった所で再度買い増しをすることです。

これにより、ポジションが2倍、3倍になりそれぞれのポジションの平均した購入レートが下がることになり、収支が含み益になるレートまでの値幅は小さくなる為、損失を防ぐことができる場合がある。



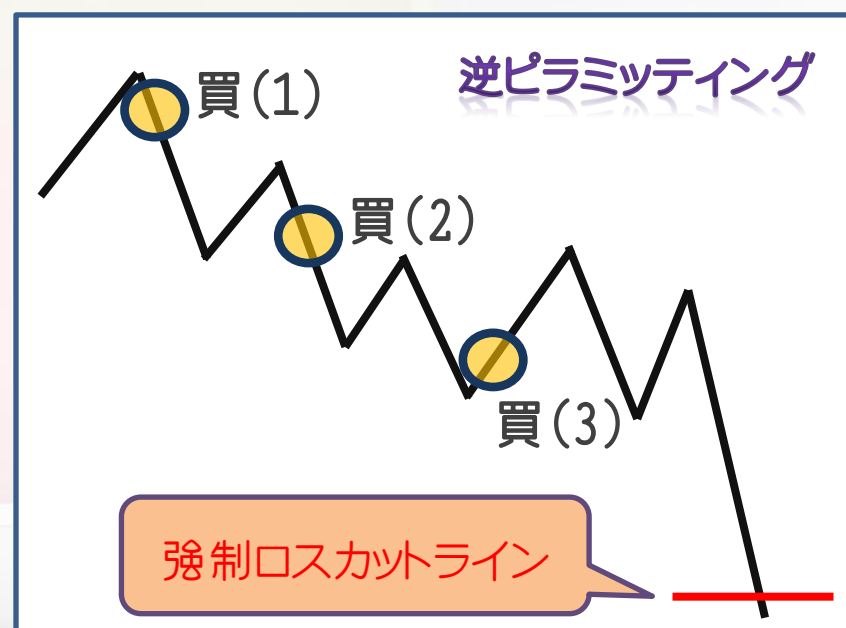
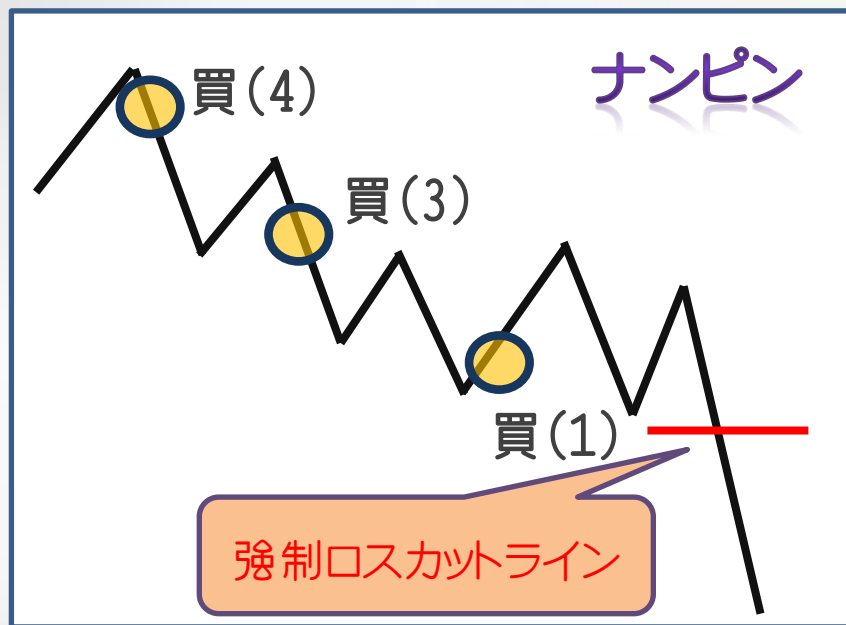
ナンピンの恐ろしさ

先に説明したように、ナンピンによって損失を防ぐことはできる時もありますが、ナンピンにしたポジションの値より更にずっと下がってしまった場合は、損失は2倍、3倍となり、大きく損切りをするか、最終的にはナンピンに耐えうる資金量がなく強制ロスカットとなり、資金の大半をなくす結果になる可能性があるので注意しましょう。



ナンピンと逆ピラミディングの違い

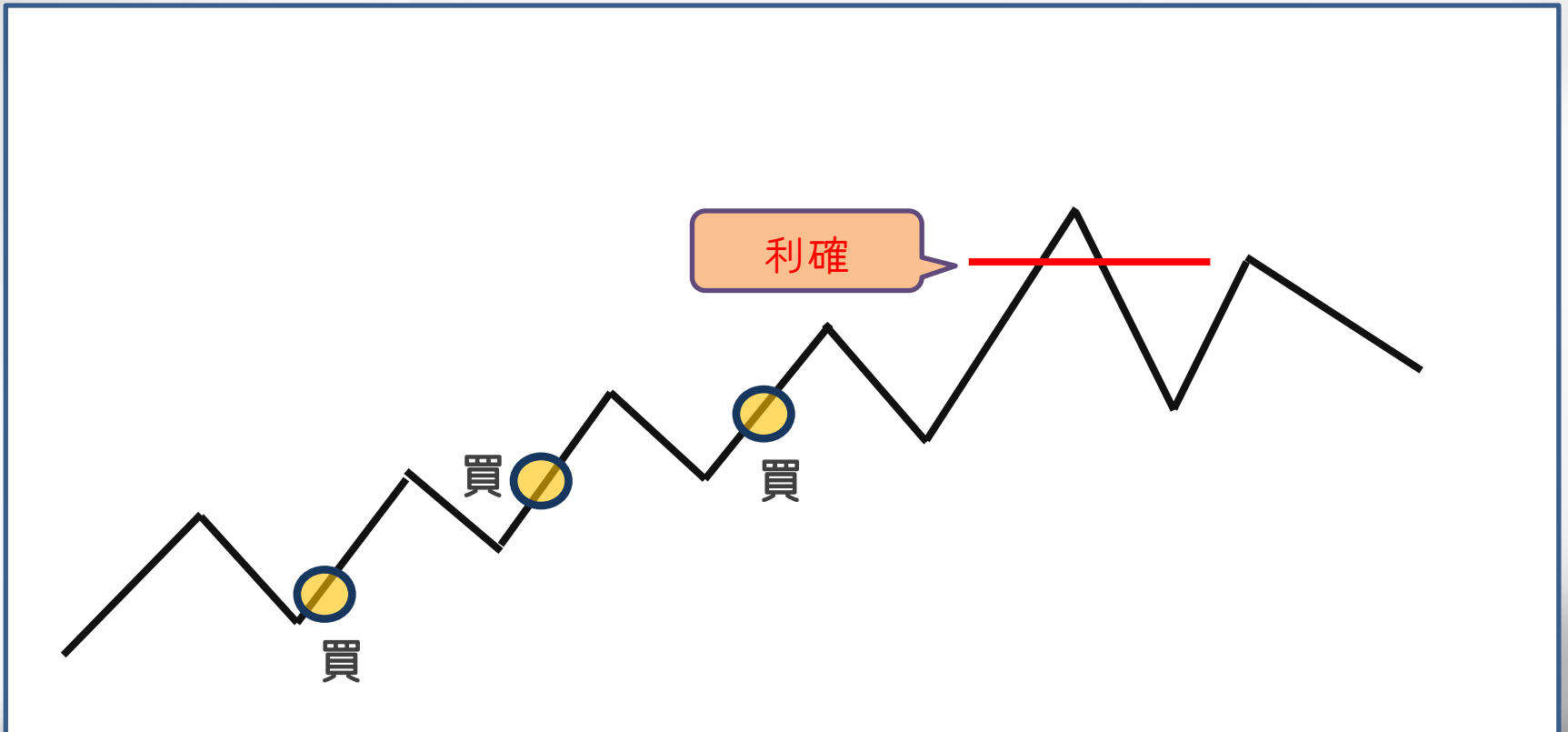
ナンピンとは簡単に言うと、計画性がなく、逆行したらポジション量も適当に配分しエントリーをしていく事を言います。逆ピラミディングとは、最初のポジション量はかなり小さく、逆行することは想定内であり、再エントリーを仕掛けていく所もシナリオ通りで、第2、第3のポジション量が順に増えていく手法を言います。いずれにしてもこの二つの違いは計画性があるかないかです。またいくら計画があつたからと言っても、想定外の上昇や下落で資金が耐えうる事ができなければ、結果は同じになります。



積み増し(ピラミッシング)とは？

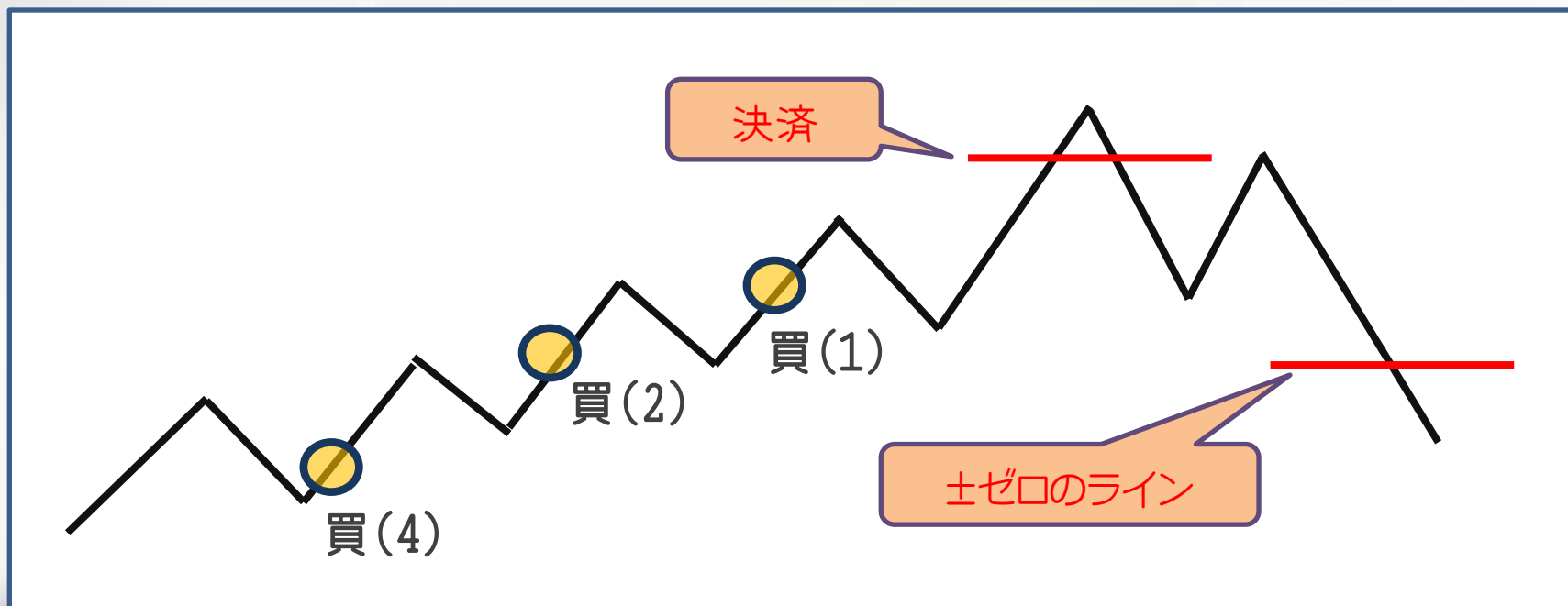
積み増し（ピラミッシング）とは？

エントリーしたポジションが思惑通りにプラスになっている時に、再度エントリーしてポジション量を増やすことを言う。含み損を抱えてポジション量を増やすのはナンピンだが、含み益が出ている状態でポジション量を増やすことを積み増し（ピラミッシング）という。



ピラミッティングのポジション量について

基本的に積み増しの場合、第1ポジション量が一番多く、第2、第3と積み増しをするたびにロットを小さくすることをピラミッティングと言います。第1ポジションの含み益を担保に第2ポジションを持ち、第2ポジションの含み益を担保に第3ポジションを持つという考え方です。反転をしてきた場合は、ストップロスを設定しておき、トータルでマイナスにならないように注意すること。ポジションの比率は6：3：1や3：2：1など様々あるので、その都度相場状況と資金に対して安全な配分を考えるようにする事。



あなたは有り余る無限の資金を持っていますか？

本講座では**ナンピンや逆ピラミッティングは推奨いたしません。**

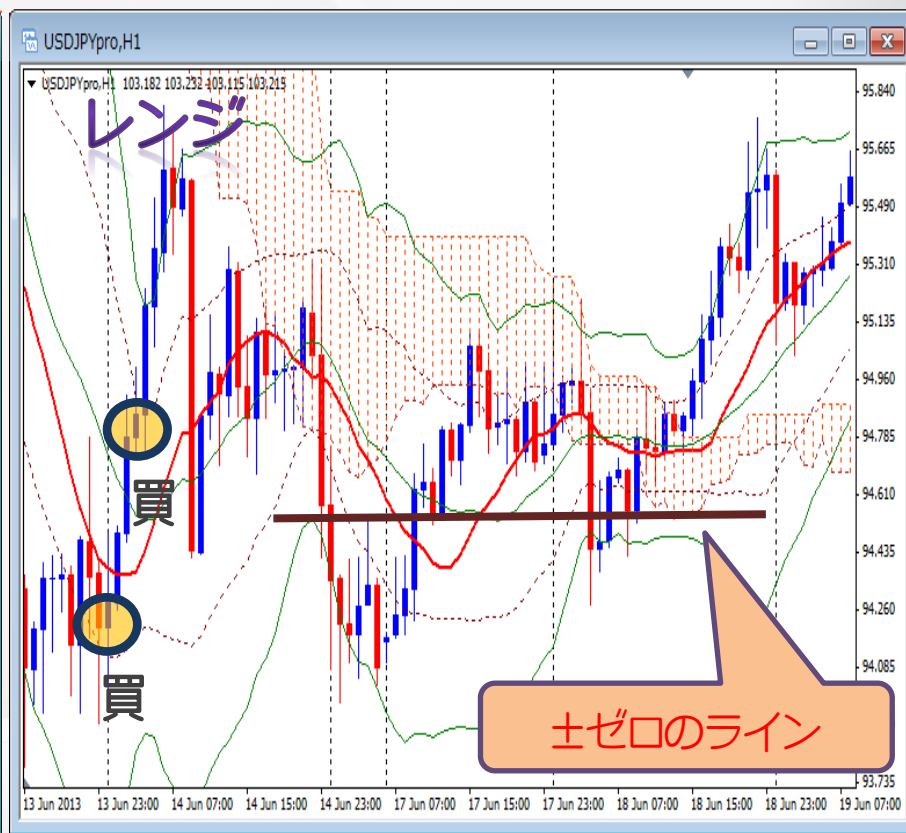
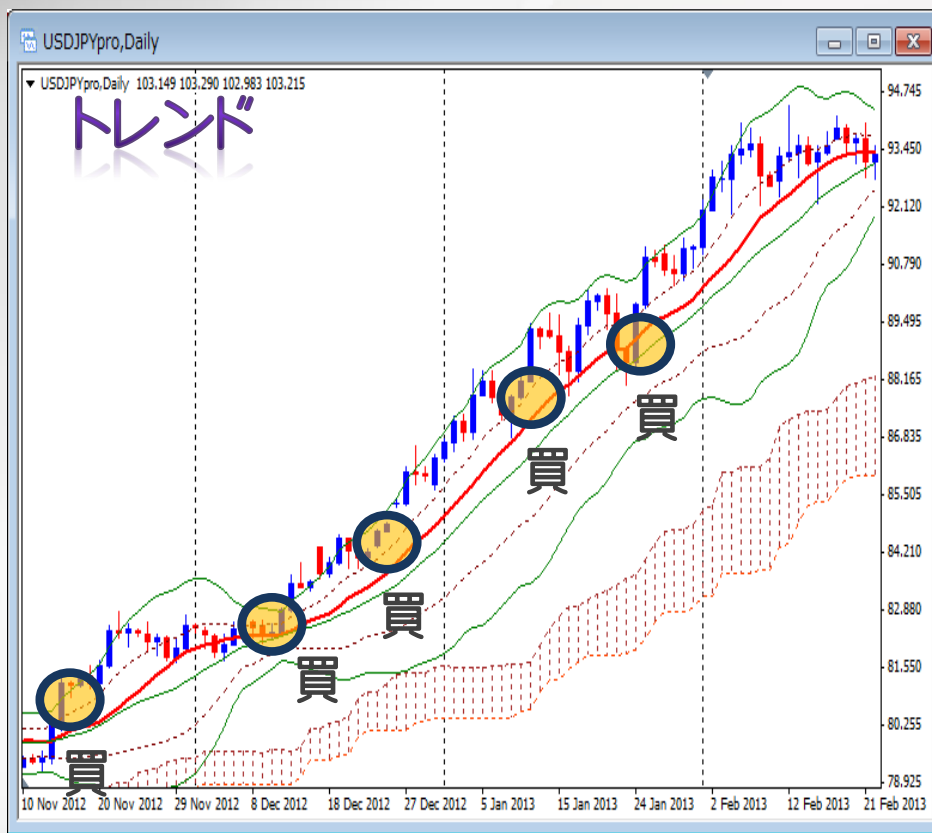
それはなぜか？

答えは明白です。あなたはFXに投じる無限の資金を持っていますか？
答えがイエスの方はナンピンをしても良いでしょう。でもそんな方は世の中にはいません。そして何より、含み損をずっと抱えて生活をするほど苦痛な事はありません。あるポジションがマイナスが為に、それを補填するべくポジションを持つという行為は資金を増やす行為つまり、積極的な行為ではなく**損切りができない事が最大の理由の消極的な行為**です。本講座は全てのエントリーポイントに対して、どこで損切りを置くか明確にしています。このルールに従い、1ポジション、1ポジション単独で損切りしてこそ、安定的に資金を増やしていく事ができるのです。

そして、積み増しについては本講座でもご紹介を致します。但し、**積み増しも安易にするのではなく**、しっかりと過去検証を行い、自分で得意なパターンの時に活用することをお勧めします。ポジション量は必ず最初のポジションのロット数が一番多く、順に減らしていく事。例えば含み益が出たとしても、全ポジションの合計でプラスマイナスがゼロになる値には必ずストップロスを置き、相場を見守ることが大切です。

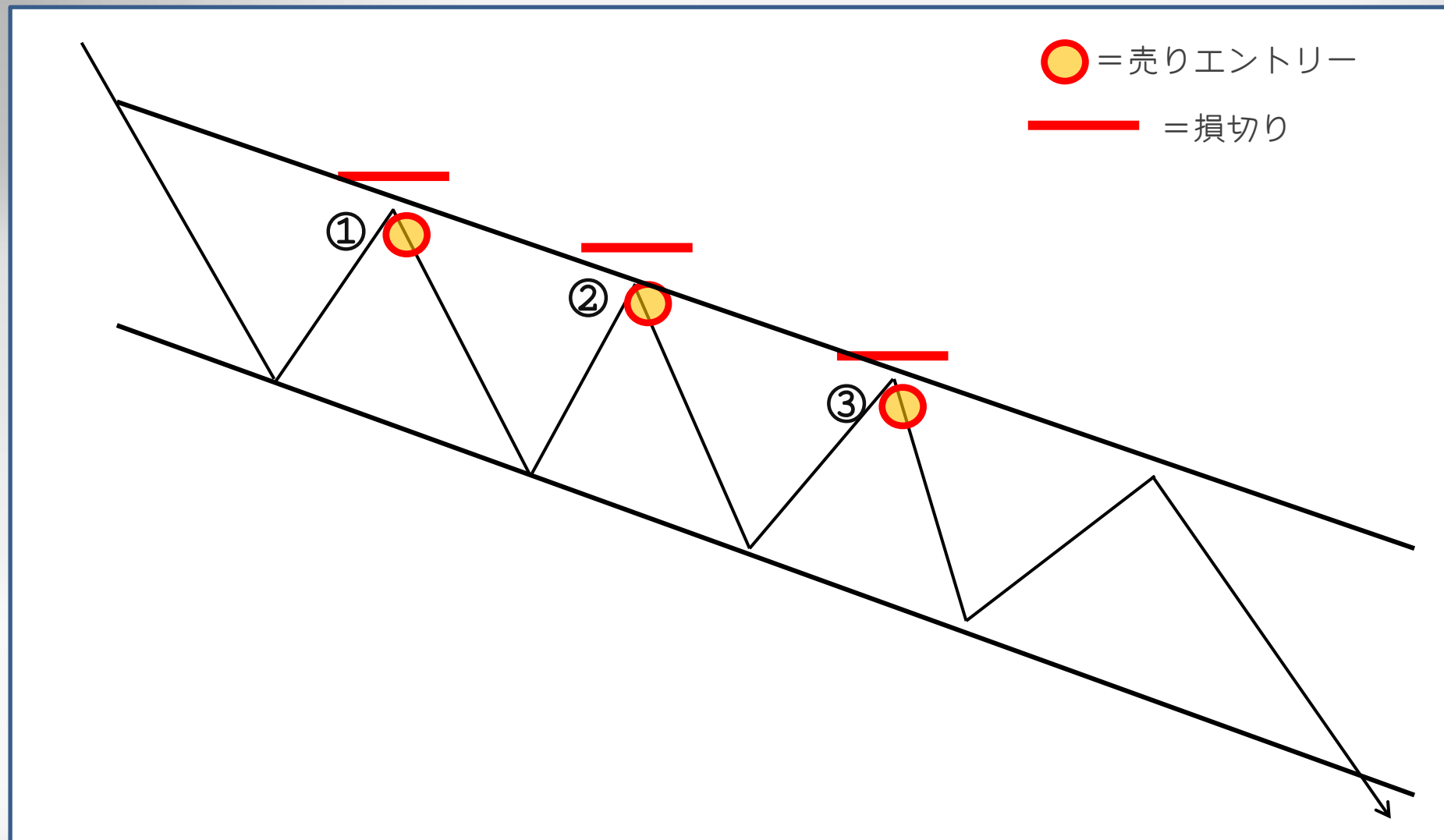
積み増し(ピラミッシング)が有効に発揮される相場状況

積み増しの威力が発揮できる相場は何と言ってもトレンド相場です。
レンジ相場で積み増しを行うとすぐに逆行してしまい、損切りに合う可能性も大いにあります。ですので、積み増しを行う時はトレンド相場を狙って行うようにしましょう。



トレンド相場エントリーでの積み増しポイント

例：下降トレンド

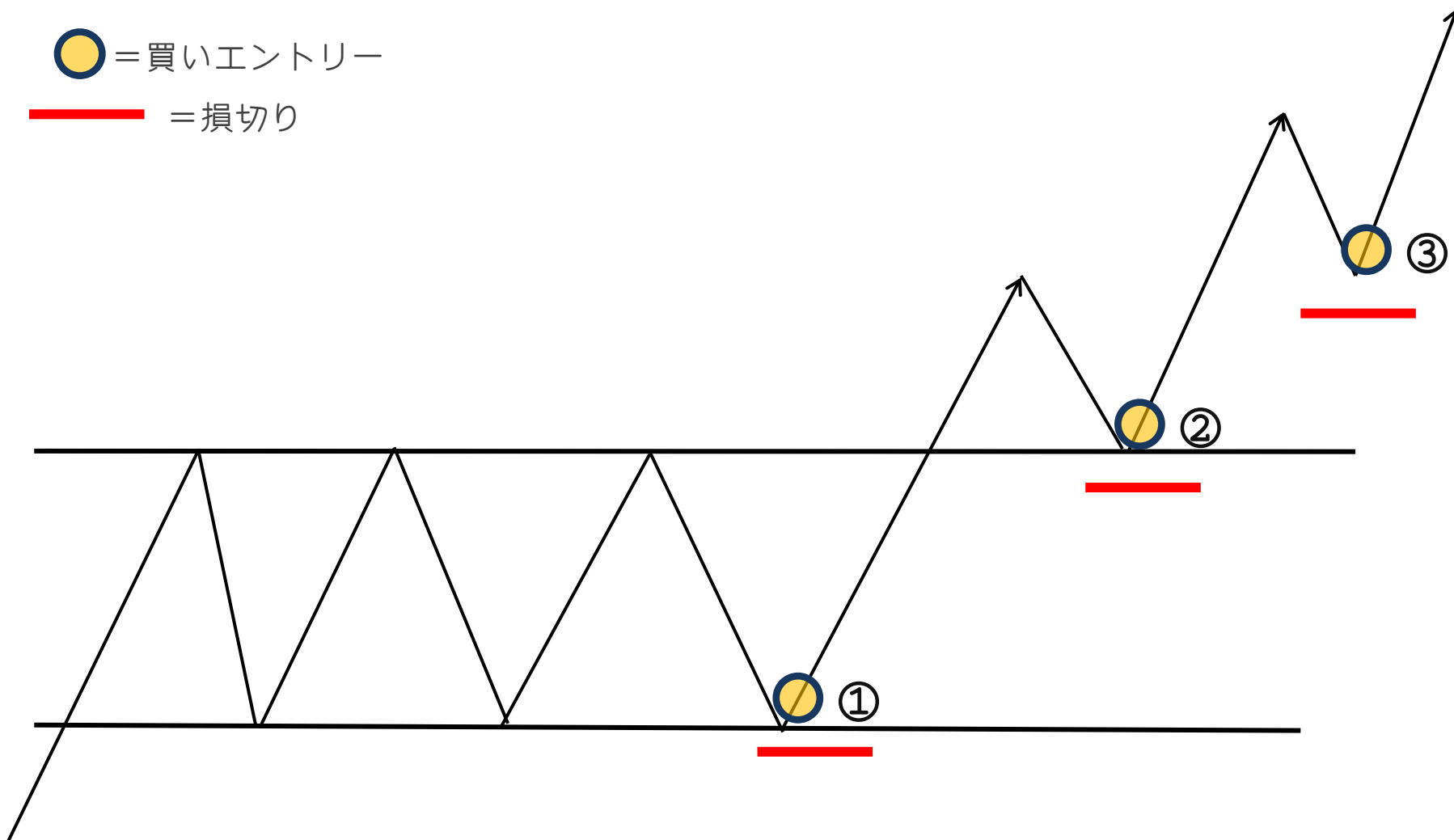


BOX圏エントリーでの積み増しポイント

例：アップトレンドのBOX圏（直近の流れに逆らわないBOX圏）

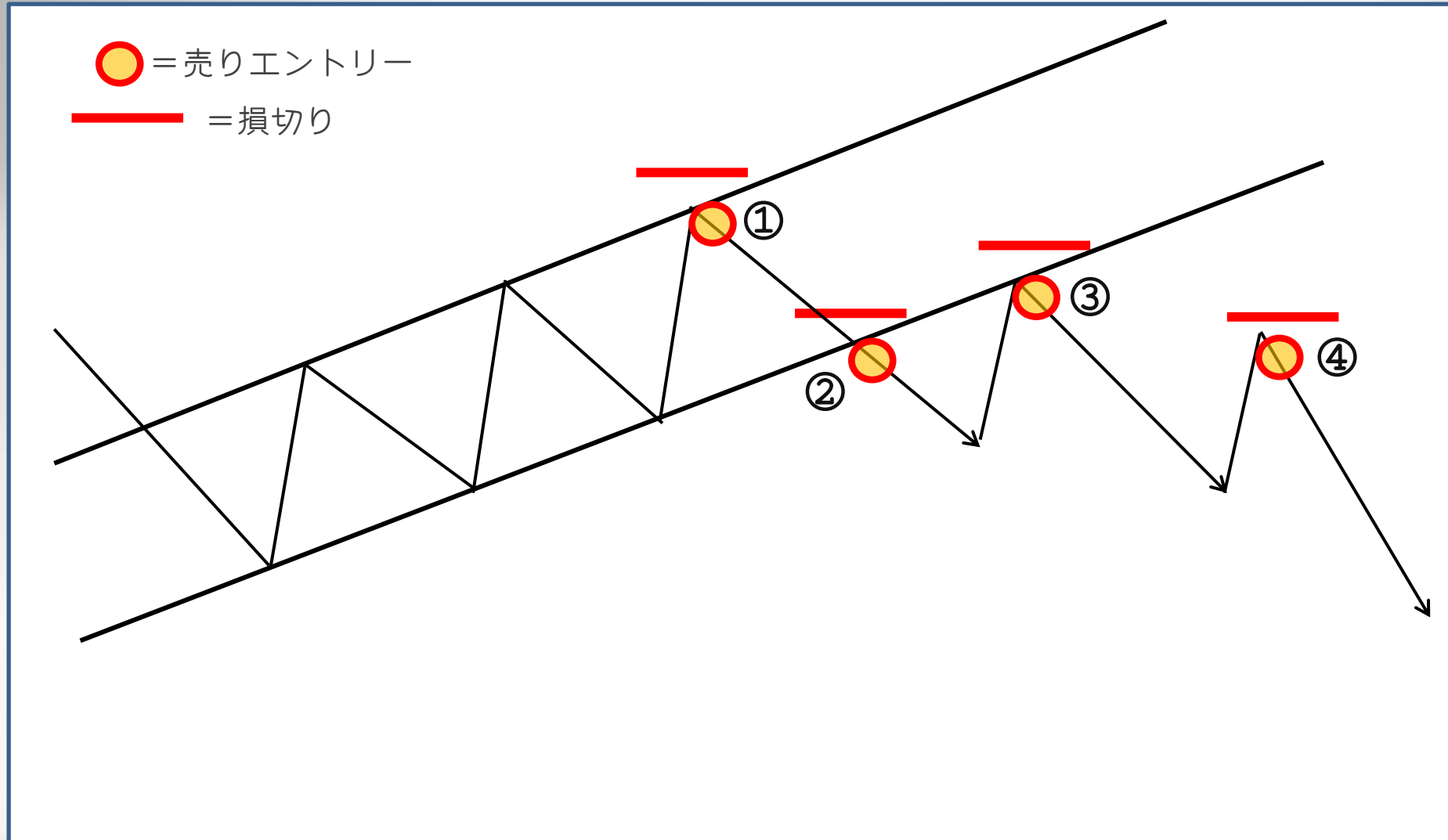
● = 買いエントリー

— = 損切り



フラッグエントリーでの積み増しポイント

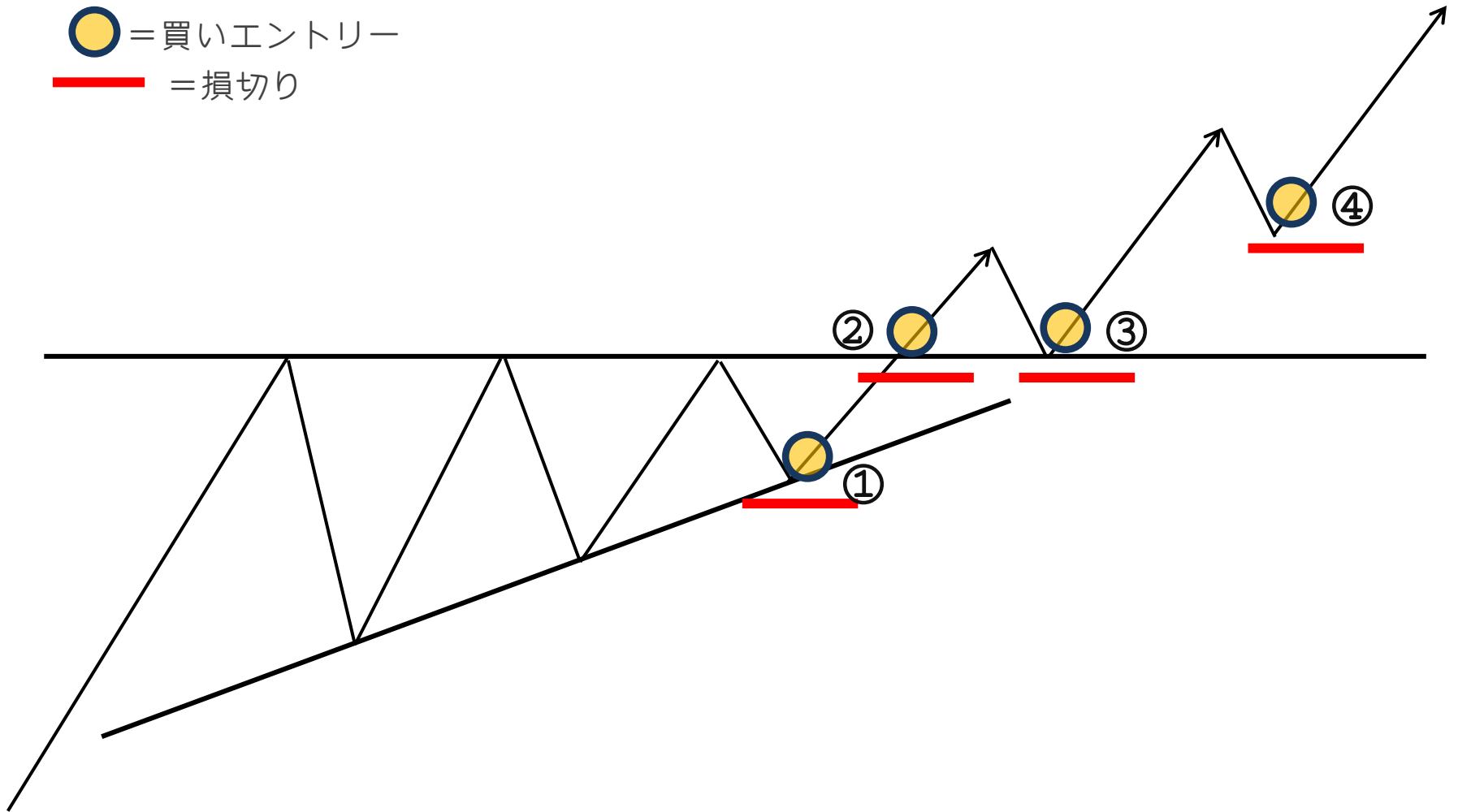
例：下降フラッグ



トライアングルエントリーでの積み増しポイント

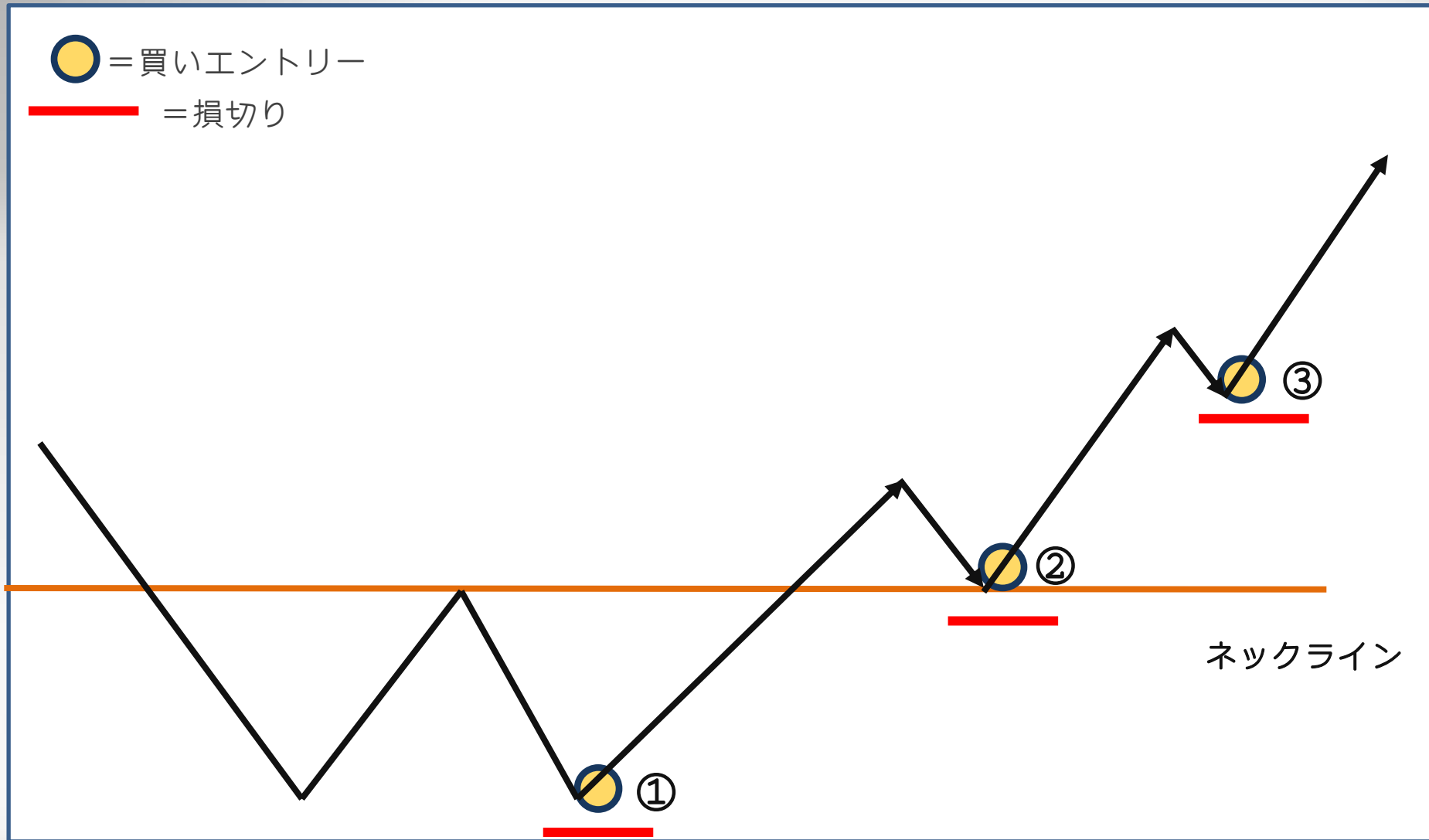
例：上昇トライアングル

● = 買いエントリー
— = 損切り



Wボトム（トリプルボトム）エントリーでの積み増しポイント

例：Wボトム

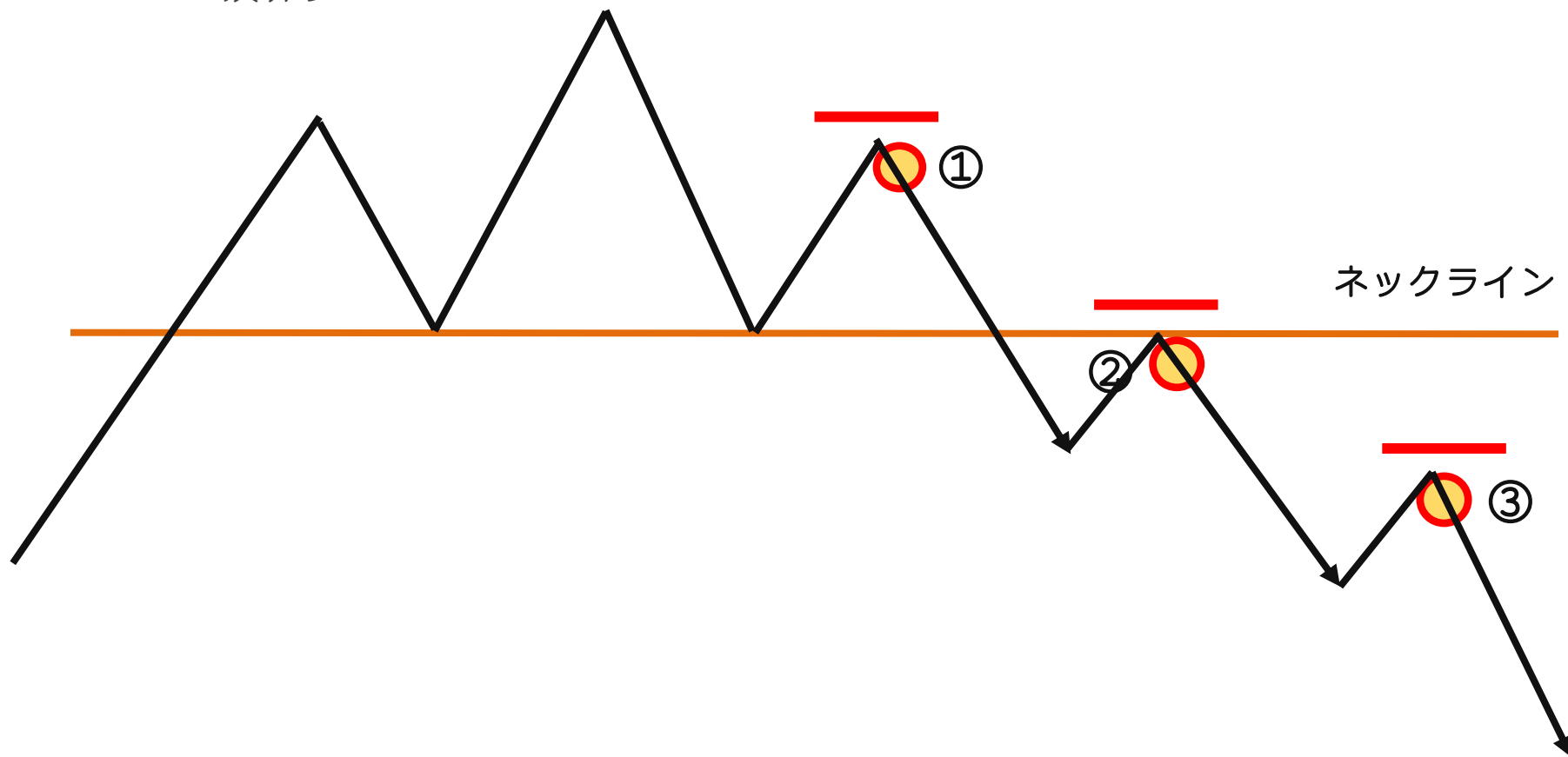


ヘッド&ショルダー（三尊天井）エントリーでの積み増しポイント

例：三尊天井

● = 売りエントリー

— = 損切り

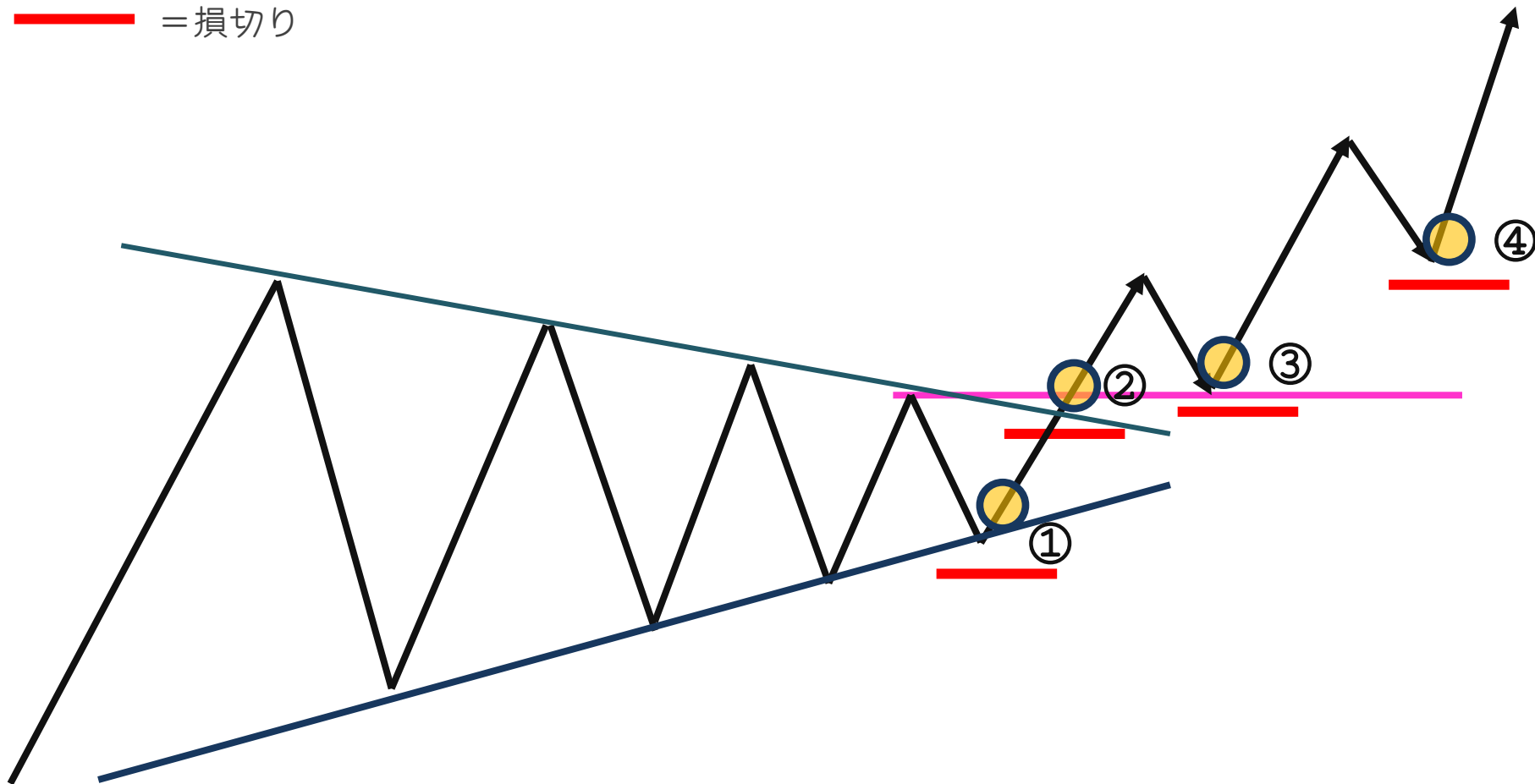


ペナント（三角保ち合い）エントリーでの積み増しポイント

例：上昇ペナント

● = 買いエントリー

— = 損切り



基本的なトレールの仕方

持ったポジションの利が乗ってきたところで、ストップロスの位置を含み益が出る値に移動し、利益を確保することをトレールと言います。
ストップロス（S L）の置き方は次の三段階が基本です。

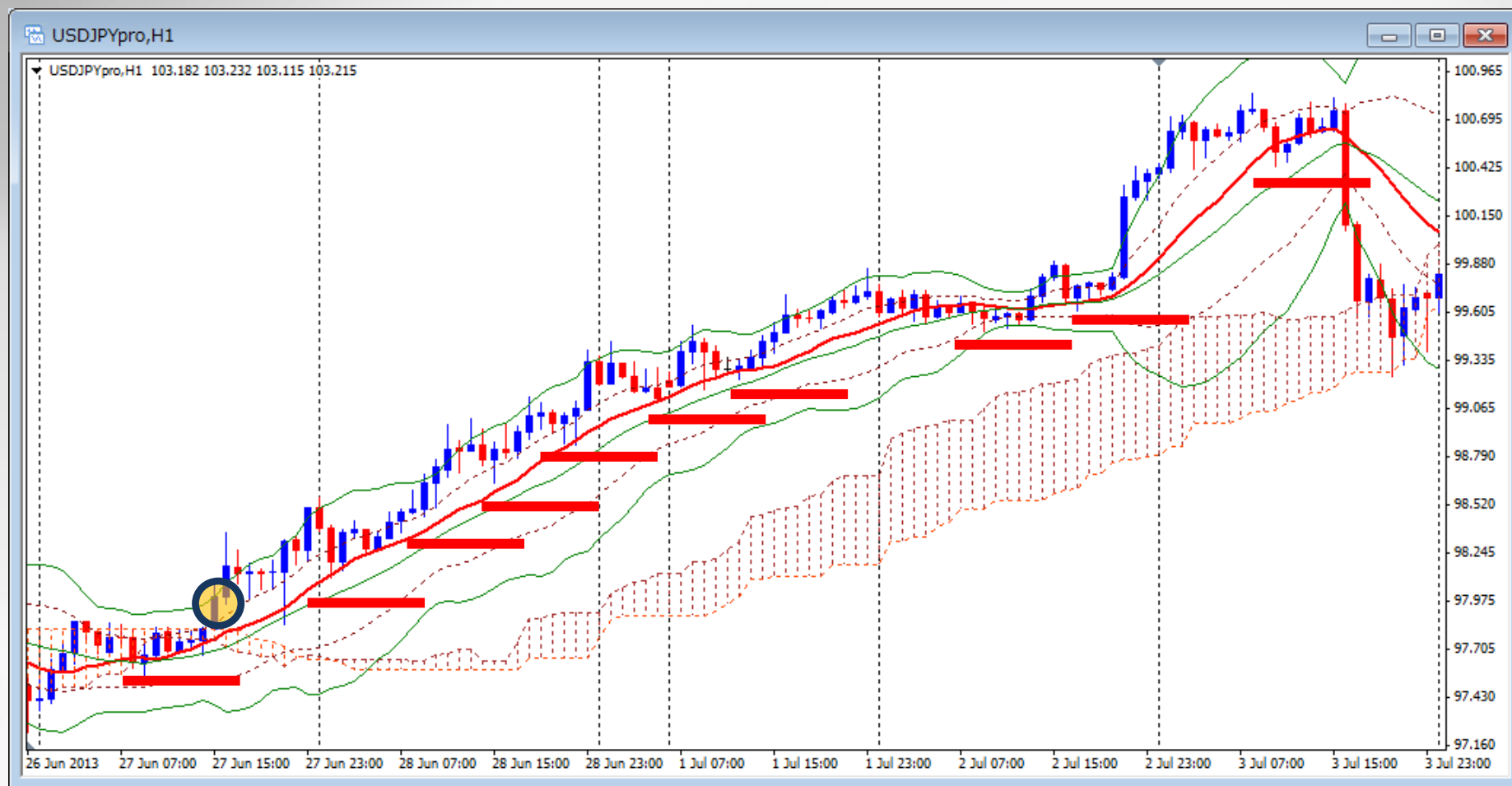
- ①根拠のある損切りの値に S L を置く。
- ②ある程度利が乗った所で建値（エントリーした値）に S L を置く。
- ③しっかりと利が乗ってきたら、現在値のトレンド根拠が完全に崩れる所に S L を置く。

※トレンドが継続する限り、一波上昇するごともしくはレンジの根拠が崩れる所にトレールしていきましょう。

【注意点】

・すぐに S L を建値に移動すると、建値で引っかかってしまい、その後順行したら利益を取り損ねることになるので、慎重に動かす事。往々にして少し利が乗ったら損切りに合うのが嫌で建値に動かしてしまうが、常に相場をチェックできない環境下でのトレードでは、再エントリーが難しいため、気を付けなければならない。いわゆる節目を超えてから移動していく事が大切である。

トレールの一例



今回のまとめ

- ①ナンピンは破滅への第一歩。計画性なく、含み損を抱えてポジション量を増やす事はとても危険な行為だと心得ておきましょう。
- ②積み増しは最初のポジションから順を追って、ロット数を下げていく事。そうしなければ、少し逆行で含み損を抱えることになり、危険な状態となる。
- ③あくまで一つひとつのポジションは単独で取り扱う事。但し、積み増しをした際には総合計でプラスマイナスゼロになる値はいくらになるかは把握しておき、最悪の場合、±ゼロで逃げられるように準備をしておく。
- ④トレンドが発生しているからと言って、積み増しをずっとしていると、後から持ったポジションは逆行してトータルで利益が減って決済する可能性もあることを忘れないように。
- ⑤各チャートパターンでの積み増しはあくまでトレンド発生を見越してのエントリー。
トレンド発生の兆しが見られない場合は一旦降りるシナリオも想定しておくこと。
- ⑥安易なトレールは利を逃す事にもつながるので、しっかり練習をしましょう。

積み増しが有効な相場環境を把握して利益を伸ばしましょう!!